

ずいそう

## 2 回目のハワイ旅行で思う事

諸橋良二



入社19年目にして初めて社員旅行が海外となりました。会社としては以前にも海外へ社員旅行に行ったことがあったそうですが私が入社するずっと前の話です。その時と同様に社員を何班かに分け、順番に旅行へ行く事となり、私は最後の班での出発となりました。

行先は新婚旅行と同じハワイだったので、6年前の記憶を辿ってみると、出発前に予定を立てたのを思い出します。あの店でパンケーキが食べたい、乗馬もしてみたい、ゴルフもしたいな、やっぱりビーチは外せない等短い日程に可能な限り詰め込んだものです。

前回より1泊少ないこともあり、女房と相談し今回はあまり予定を立てずのんびりしようと決め、現地でのアクティビティには申し込まず、唯一のプランはショッピングだけで2回目のハワイ旅行に向かいました。

ホノルル空港に降り立つと期待通りの暑さが待っていて、先行者から「ずっと雨だった」との話を聞いていたので自分の運の良さに安堵しました。ホテルにチェックインするまでまだ時間があったのでバスで免税店に向かいショッピングが始まります。ここでも別の先行者から「着いてすぐ700ドルぐらい買い物してしまった」との話を聞いていたので、女房に「まだ初日だからな」と言い聞かせ事なきを得ました。夕飯はセッティングされていた鉄板焼き屋で会社の人達と一緒に食べ、その後散歩がてらアラモアナショッピングセンターを見学して初日が終了。

翌日は我々夫婦と同僚2人と一緒にアウトレットへ買い物に向かいました。ここは6年前にも訪れた思い出の場所で、当時はドルを円に換算してやっぱりこっちは安いなと思ったものです。値札を見て思った通りの安さが購買意欲に拍車をかけます。気がつくとき大きい紙袋がいくつも両腕にぶら下がっていて、最近日本でもよく見る「爆買い」状態となっていました。

同僚との待合せ場所で待っていると2人が向こうから歩いてきます。その手には小さい紙袋が1つか2つしかありません。大量の紙袋に囲まれた私を見て、ニヤけた表情で「爆買い」の一言。込み上げてくる恥ずかしさにここでのショッピングが我々唯一の目的なのだからと必死に自分に言い訳します。

その後、重たい荷物をホテルまで運び、ビーチに向かいます。海で泳ぐ人、日焼けする人、サーフィンする人、みんな楽しそうで見ているだけで楽しくなるこ

の雰囲気大好きです。ルールといえば飲酒・喫煙禁止ぐらいで年齢も体型も関係なくただ海で遊ぶことを目的に色々な国の人が集まって、トラブルも起きないこの状況は凄いなと思います。みんながマナーを守れば細かい規則なんて不要だという代表的な場所ではないでしょうか。

唯一の目的のショッピングが終わり、ビーチも満喫したので達成感に浸っていましたが、SNSで友人からあそこのあれが美味しいとかお土産にはあれがいいなど新たな情報が入ります。3日目は早速情報のあったアサイーボウルが有名なカフェに朝食がてら向かいました。しかし、そこは現金オンリーでカードが使えません。メニューを見ると手持ちの現金でぎりぎりアサイーボウルが1つ注文できます。食べてみるととても美味しくこれだけを食べてくる人がいても全然不思議ではありません。実際、周りに数人の日本人がいてみんなアサイーボウルだけを食べていました。これなら我々夫婦がお金がなくてこれしか食べれないとは誰も思わないだろうなとほっとしました。

最後の夕食は会社の身近な仲間とこれまたSNSで情報もらった日本料理のお店で過ごしてあっという間に帰りの日を迎えました。

大体日本語が通じると聞いていたハワイでも日本語の通じない方もいて、その方たちとの拙い英語での会話や逆に日本人同士がちょっとした時に「サンキュー」と挨拶するのを見たりすると外国にいるんだなと微笑ましい気持ちになりました。私自身は2回目ということで大した不安もなく、十分にハワイを楽しめたと思います。とはいえ爆買いしてみたり、所持金が少なくて食事を我慢したりと失敗もしました。仕事の時に1度注意したことをまた失敗した後輩を叱ったことを思い出します。しかし、1度の経験で全てを理解することは不可能で2回目には2回目だからこそ分かることや出来ることがあるという事を念頭に今後はアドバイスしていこうと反省しました。

入社20年を目前に初心に帰り、自分を見つめ直す機会を貰えたのでありがたかったです。今後は3回目のハワイ旅行ができるように日々、精進していこうと心に誓いました。